



<教育目標>

英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

中野中学校だより

平成 28 年 9 月 30 日発行

No. 8 校長 矢口 仁

楽しむことが勝利 — 総体陸上を終えて — 校長 矢口 仁

夕づくると風動きだす 蕎麦の秋 松山寿美

本年度の活動の折り返し地点が近づいてきました。前期の生活を振り返り、さらに新たな目標を立てて、10月11日からの後期に向かってほしいと思います。



さて、9月27日に中野区中学校総合体育大会 連合陸上競技大会が駒沢オリンピック公園陸上競技場で行われました。去年は雨でしたが、今年は天候に恵まれました。暑いぐらいの気候の中、参加した選手は全力を尽くして競技をやりとげました。

結果は、総合成績で男子が3位、女子が7位という立派なものでしたが、その結果以上に、様々な成果を感じることができました。

その一つは、「諦めない気持ち」が見られたことです。400mリレーでバトンを落としてしまう場面がありました。それでも、最後まで全力で走っていた姿に感動しました。また、足の痛みを必死にこらえて100mを最後まで走り抜いた選手もいました。

もう一つは「応援」です。選手は出番を緊張して待っているのですが、それでも他の選手に対して、大声を出したり、大きな拍手をしたりして、仲間を元気づけます。その姿が、最後までずっと続いていたことがよかったと思います。

今回、スペシャルゲストとしてロンドンオリンピックマラソン代表の藤原 新さんが生徒と一緒に走りました。足にけがをしているということで、共通女子の1500mだけでしたが、選手を励ましながら走っていました。その姿に、とても温かな人柄を感じました。藤原さんの言葉が印象に残っています。

「スポーツには勝敗がつきものです。それは当然のことですが、必要以上に勝利にこだわりすぎるのは、よいことではないことと思います。私たちのように、オリンピック出場を目指すレベルでは、勝つことだけが目標になりがちです。しかし、それではスポーツのもつ本来のねらいや楽しさが失われてしまいます。スポーツにおける一番の勝者は、競技を終えた後、心から楽しめたと言える人間だと思っています。」

選手たちは、帰りの電車の中で、仲間と楽しそうに話をしていました。

スポーツは、人間形成に大きく関わるものです。フェアプレーの精神、協調性・思いやり、あきらめない心…などを身に付けて自己を成長させていくことが本来の姿です。そして、仲間とともに楽しみ、仲間を増やし、一生涯楽しめたら最高でしょう。